

## 成人おめでととう

### —三百五十一人が新成人—

一月十五日午前十時から総合会館で、第四十回日光市成人式が行われました。今年新しく大人の仲間入りをしたのは、男百八十六人、女百六十五人、計三百五十一人の皆さんです。穏やかな天気にも恵まれ、総合会館は厳粛の中にも華や



いだ雰囲気につつまれました。齋藤市長は「人生にはいくつかの区切りがあり、それはあたかも竹の節に似ています。人生の数多い節目の中でも成人という節目は、ひとときは重要な意味があります。生涯を通じてたゆまぬ自己研鑽に努められ、平和で心豊かな二十一世紀の地球と日本を担う気概と行動力を切望します。」と励ましの言葉を贈りました。このあと、各界関係者からの祝福と、二荒山神社、東照宮、輪王寺及び市から記念品が贈られました。成人者を代表して星野一明さん(所野)から「私たちは、この晴れの成人式を新たな人生の第一歩とし、己の心身を鍛練すると共に、皆様方のご期待にそむくことのないよう成人者として意義のある充実した社会生活を営む覚悟です。」と誓いの言葉が述べられました。

## 新春の空にヤァー 武射祭

日光二荒山神社中宮祠で、1月4日、新春恒例の「武射祭」が行われました。

男体山の神と赤城山の神が、領地争いをし、弓の名手を抱えていた男体山の神が勝ったという「神戦物語」に由来して行われるめずらしい祭りです。

神社神職と県弓道連盟関係者が赤城山の方角にあたる中禅寺湖の湖上に向けて「ヤァーヤァー」と勇壮な勝ちどきをあげ、武射祭を盛りあげました。



### 今年一年の幸せ祈り

#### 豪快!和泉のどんど焼

一月十四・十五日の両日、市内約三十か所の地区で今年一年の健康や豊作を祈る「どんど焼」が行われました。

和泉地区は昔から一月十四日の夜に行っています。お年寄りの話によると、どんど焼の火は戦時中の混乱期にも絶やしたことがなく、方法も昔のままだそうです。

十五日もあろうかと思われる大竹を中心に組まれたどんど焼のやぐらに火が入ると、たちまち十数回の火柱になり豪快そのもの。今年是非常に珍らしく先端部まで一気に燃え上がり、縁起がよいとまわりの人たちを喜ばせました。

